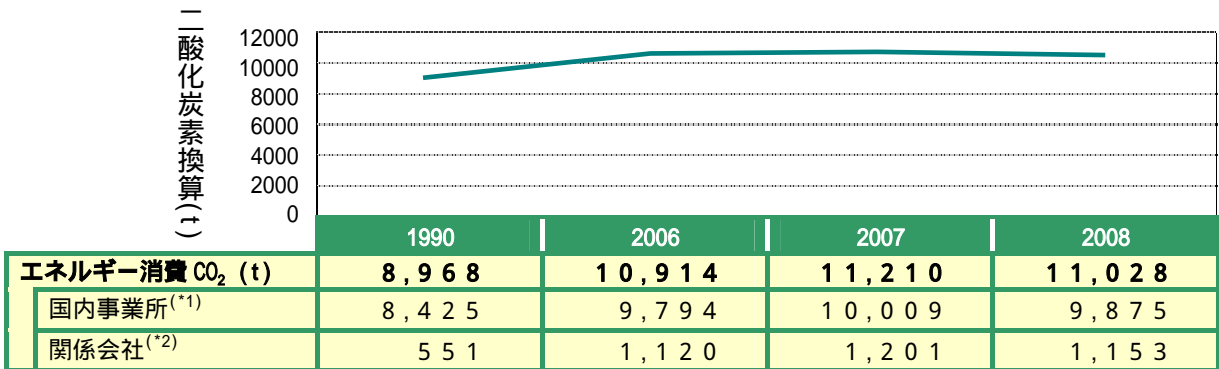


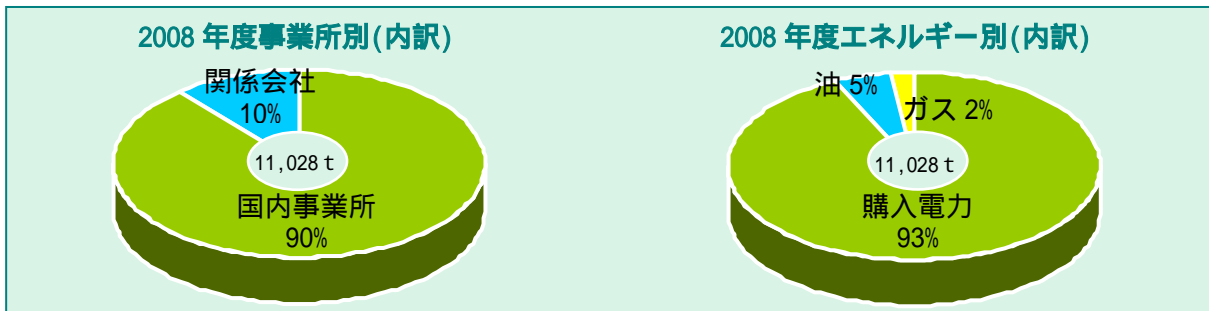
# 環境負荷状況

## エネルギー総消費量（二酸化炭素換算）

当社の国内事業所及び関係会社のエネルギー消費量を二酸化炭素に換算すると次のとおりです。国内事業所の実績値には、エネルギー消費 CO<sub>2</sub> 削減活動の対象より除外している一部の増設施設におけるエネルギー消費量も含んでいます。

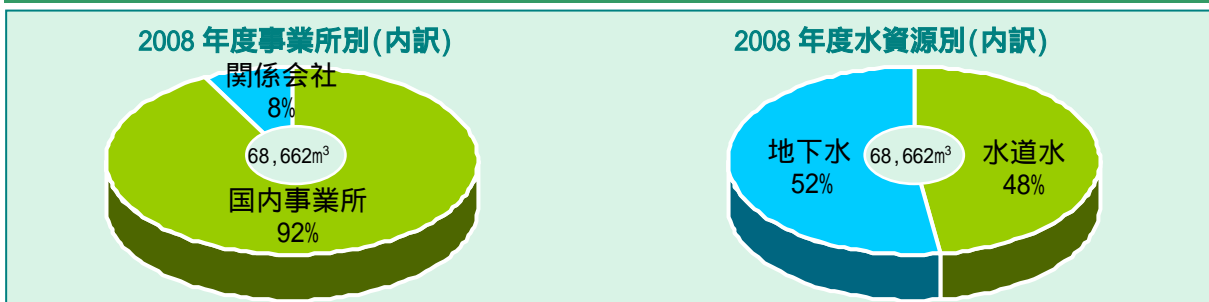
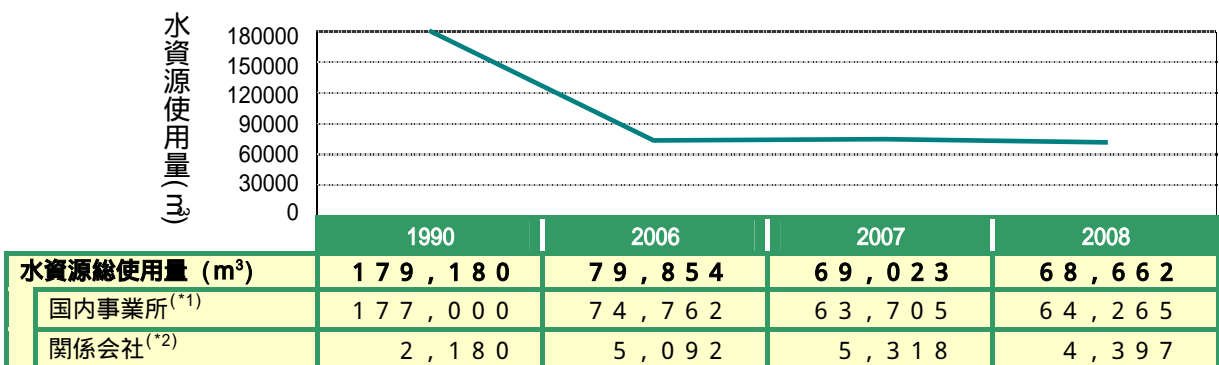


(補足)：電力+油+ガスの使用量を二酸化炭素に換算した量(t)



## 水資源総使用量

当社の国内事業所及び関係会社の水資源総使用量（水道水、地下水）は次のとおりです。1995年以降、水冷式空調機を空冷式空調機へ順次更新を行い、地下水使用量を削減いたしました。現在は、地下水をトイレ等の雑用水及び冬期の構内融雪に使用しています。

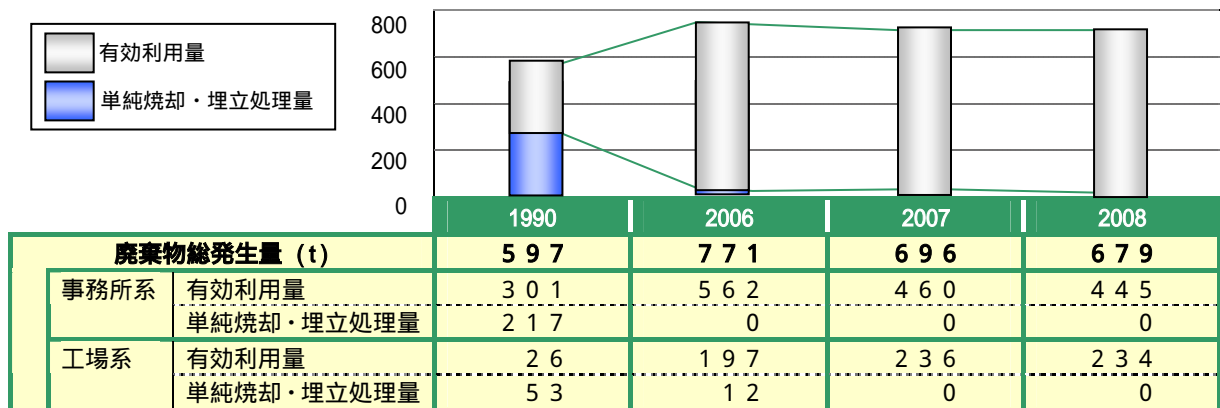




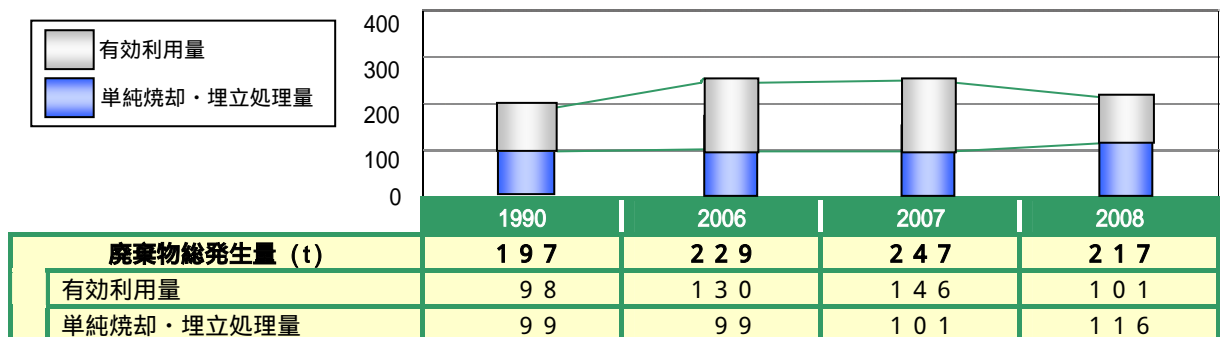
## 廃棄物総発生量

2003年10月に本社/石川開発センター及び東京開発センターにて廃棄物のゼロエミッション<sup>(\*)</sup>を達成しました。2004年10月には東京本社、2006年4月には関西事業所、東海事業所、新橋事業所、2007年3月にはProDeSセンター、PFUテクノワイズ高松工場においても廃棄物のゼロエミッションを達成しました。なお、一般可燃物をRDF化した場合など、サーマルリサイクル後の残渣についても、路盤材やセメントの原料として有効利用されていることを確認しております。関係会社においても廃棄物ゼロエミッションに向け、リサイクル率向上に取り組んでいます。

### 国内事業所<sup>(\*)</sup>からの廃棄物総発生量

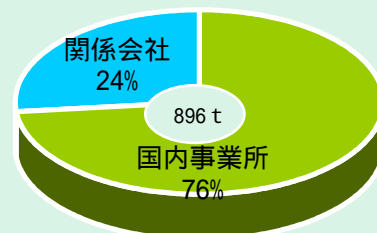


### 関係会社<sup>(\*)</sup>からの廃棄物総発生量



### 2008年度廃棄物総発生量(比率)

	実績(t)
国内事業所 <sup>(*)</sup>	679 t
関係会社 <sup>(*)</sup>	217 t



<sup>(\*)</sup>国内事業所とは、事業所（本社/石川開発センター、東京本社、東京開発センター、ProDeSセンター、関西事業所、東海事業所、新橋事業所）に加え、全国の営業・保守サービス拠点(21拠点)。

<sup>(\*)</sup>独自に環境マネジメントシステムを構築、運用している関係会社6社（PFUクオリティサービス株式会社、PFUライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター、PFU北海道株式会社、PFU東日本株式会社、PFU東都株式会社、PFU西日本株式会社）。

<sup>(\*)</sup>事業所から排出された廃棄物をすべてリサイクルなどにより有効利用し、単純焼却と埋め立て処理をゼロにするものと定義しています。  
この廃棄物とは汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、金属くず、木くず、繊維くず、ガラス・陶磁器くず、動植物残渣(食堂生ゴミ)の11種を対象としています（医療系廃棄物は対象外）。